

第1回 2019~2020 年度部運営検討委員会議事録

委員会開催日時：2018年9月15日 11:00~12:00

場所：レンブラントホテル厚木・3Fエルク

出席者：金子功（委員長一横浜）、佐藤節子（部長-厚木）、玉城哲人（沖縄那覇）、千葉裕子（鎌倉）、浦出昭吉（横浜とつか）、小松仲史（厚木）、峯尾 舜（金沢八景）、岡田勝美（横浜つづき）、伊藤康一（沖縄）

陪席：森田幸二郎（次期部長一沖縄）、堀田哲郎（部書記一厚木）、加藤利榮（横浜とつか）、岡 進（横浜とつか）

配布資料

1. 委員会協議事項（アジェンダ）
2. 上記協議事項をまとめるに至った金子委員長と森田幸二郎次期部長とのメール交信記録：1）金子→森田（8月22日）、2）伊藤康一次期部書記→金子（9月5日）

委員会は金子委員長を議長として定刻に開会。先ず出席者の自己紹介会を行った。金子委員長の当委員会の設置の趣旨説明が簡単にあり、その後佐藤部長と森田部長よりご挨拶をいただいた。

限られた時間の中での協議とあって、協議に時間のかかりそうな協議事項1は後回しにし、協議事項2. から協議は進められた。

協議事項、2. 3. 4. については部長の出席が求められる行事に部長の出席が難しい場合の処置についてである。代理をどうするか、スカイプの活用等について議論を重ねたが結論として、部長の代行業務は部則に規定があるのでその規定に沿って処理すればよいのではないかとの意見が出され概ね合意された。

協議事項5. の合同新年会については既に横浜中華街「北京飯店」での開催が計画されており、評議会での検討事項であることが確認された。

協議事項6. の部長の各クラブへの公式訪問については森田次期部長より、仕事の関係で一月に数回は上京の機会があるので、その機会を利用して各クラブへ

の訪問を実現することは可能であるとの説明があった。訪問の回数を減らすために場合によっては複数クラブの合同例会をお願いする場合も考えられるとの意見もあった。

協議事項 7 の部大会については次期部長より沖縄での開催を考えているとの見解が示された。可能性として十分検討する意味があるとのコメントが多くあったが部行事として評議会で検討することが確認された。

協議事項 1 に戻って、次期部長が部行事のために出張した場合の交通費の部の負担をどうするかの問題であったが、本件は時間がないことから次回委員会、又は評議会での検討事項とすることとした。

最後に、金子委員長より、当委員会での協議結果は次回評議会(11月17日予定)に答申する形で報告することが述べられた。

協議事項 1 も評議会での協議事項であると判断される場合には、本委員会の役割は今回の委員会をもって終了することになることの見解が示された。

委員長所感：

当委員会設置の動機は、森田幸二郎次期部長が沖縄出身であること、また、今まで評議会等への出席もなく知名度に欠けていることから、次期部長として選任したものの部の運営上問題はないかとの懸念からであった。

今回当委員会へご出席いただき、次期部長としてご挨拶いただく機会を得たが、部長としての責務を十分認識され、又、ご本人の仕事上、度々上京する機会がある環境から、部長としての責務を負うことが十分可能であることを認識されていることを確認できたのは何よりの収穫であった。次年度においては、沖縄出身の部長を支え、湘南地区並びに沖縄地区の各クラブがより一層団結することが望まれます。

(文責：金子 功 2018年9月24日)